

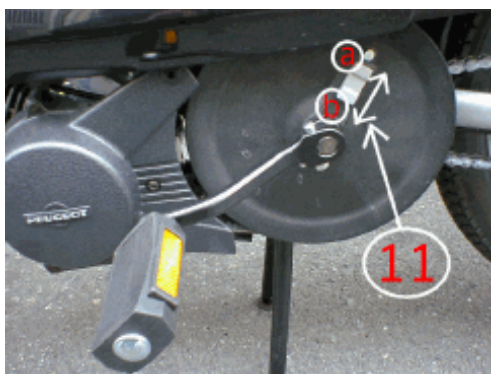
各部の説明



- 4 フロントブレーキレバー
- 5 ホーンボタン
- 6 デコンプレバー
エンジンをかける時に
ペダルの負荷を軽減します。



- 9 ガソリン給油口 **(重要)**
VOGUEは混合給油なので、ガソリンを
入れたときに約3%のエンジンオイルを
必ず入れてください。



12 ガソリンコック



- 真下 : off
- 前 : on
- 後 : リザーブ(予備)

- 1 ウィンカ-スイッチ
a: 右 b: 左
- 2 チョークレバー
朝一番などエンジンが
冷えているときに使用します。
- 3 リアブレーキレバー



- 7 アクセルグリップ
- 8 スピードメーター



- 11 駆動モード切替スイッチ
a: バイクモード
b: 自転車モード



乗り方

- 1 ガソリントankの容量は約5Lです。
又、ガソリンはハイオクを使用してください。
満タンの際は、ガソリンコックをONにします。残り約1.5Lでリザーブになるので、ONの位置でかからない時や、走っている時にエンジンが止まった時は、ガソリンコックをリザーブにすると後40～50km走れますので、その間にガソリンスタンドで給油してください。
尚、ガソリンを入れた後は、コックをONの位置に戻すのを忘れないようにしてください。
- 2 エンジンをつける時は、駆動モード切替スイッチをバイクモードにし、デコンプレバー、チョークレバーの両方を親指で押しながら、ペダルを素早くこぎます。(ゆっくりこいでいては、何キロ走ってもかかりません。)
この時、アクセルグリップは閉じたままにしておいて下さい。
足に負荷を感じたらデコンプレバーを戻し、一瞬遅れてチョークレバーを戻します。そしてゆっくりアクセルを開いていくと、走り出します。走り出したら、ペダルは左右平行に保つようにしてください。どちらか一方が下がっていると、曲がるときにペダルが地面に接触し、転倒の原因になります。
尚、エンジンが暖まっているときは、チョークレバーは押さなくてもエンジンはかかります。
又、チョークレバーを押さないときは、アクセルを少し開けてエンジンをかけてください。
あとは、安全走行を心がけてください。
- 3 停止方法
バイクが完全に停止したら、デコンプレバーを押すことによって、エンジンを停止させます。
尚、1日乗り終わったら、必ずガソリンコックをOFFの位置にしてください。特に長期間乗らないときにONやリザーブのままだと、次に乗るときにエンジンがかからなくなることがあります。
- 4 注意事項
各部の説明でも書きましたが、ガソリンを給油したときは、絶対にオイルを入れ忘れないようにしてください。エンジンが焼き付いて、走行出来なくなります。
又、スピードメーターの中にある距離計測メーターが、1000kmになるまでは、慣らし運転(時速40km以下で走行)を行ってください。
尚、チューブタイヤは、徐々に空気圧が下がってくるので、一ヶ月に一度位、タイヤの空気圧を確認してください。(前:2.0kg/cm 後:2.3kg/cm)

**Motorino
del
Vento**

TEL : 06-4800-8605
FAX : 06-4800-8603
mail adress : ciao@motorino.co.jp

エンジンオイルの入れ方



オイルのボトルには目盛りが張ってあります。1の目盛りはガソリン1L入れたときに入れる量です。ですから例えばガソリンが2L入れればボトルを押して2の目盛りのところまでオイルを上部の容器にためます。そしてその溜まったオイルをガソリントankの中に入れます。

4Lなら2の目盛り2回です。

ガソリンを入れたあとは必ずオイルを入れてください。もし一度でもオイルを入れ忘れたら必ず壊れます。

またオイルは少々多めに入れても全く問題ないですので量の加減がわかりにくいときは多めに入れてください。

特に新車のうちはエンジン内部を保護するために通常目盛りよりも30%ぐらい多めに入れてください。

オイルの混合比は3%です。(1Lにつき30cc)できれば当店指定のオイルをご使用いただきたいのですがどうしても緊急時などで他のオイルを使わなければいけない場合は必ず混合仕様のオイルをお使いください。国産車用のオイルの中には混合で使用する場合かなり混合比率を多くしないとイケないものもありますのでご注意ください。なお、当店指定外のオイルにつきましては検証いたしておりませんのでお問い合わせ頂いてもお答えできないことがあります。

ガソリンは必ずプレミアム(ハイオク)をご使用ください。レギュラーガソリンを使用した場合、最悪の場合焼き付き等のトラブルになる可能性があります。